

回覧

令和 2 年(2020 年)度 第 八 回 定例役員会 2020 年 8 月 1 日(土)

～2020 年 8 月 1 日(土) 作成～

< 館長報告 >

館長 土井 承夫(どいよしお)

冷やしたスイカにかぶりつくのが楽しみな季節となりました。そして、蝉しぐれが心地良いのはうたた寝の時だけです。皆様にはこの暑さをどうお凌(しの)ぎでいらっしゃいますか？

< 「福庭納涼まつり」中止に伴う住民還元キャンペーン実施の件 >

～福庭自治公民館全加入世帯へ商品券(一世帯 1,000 円)を

無償配布し予算の還元を行います～

平素は公民館活動へのご理解ご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、先月 7 月 16 日付け回覧でもお伝えしましたが、ご承知の通り本年度はコロナ禍の影響により当初予定しておりました福庭自治公民館の行事や活動が悉(ことごと)く中止に追い込まれております。コロナと共存し身の安全を考えるのは何物にも代えがたいものではありませんが年頭に掲げた各行事の予算は未執行のまま残高が積みあがってきております。その中でも、金額的にも大きい「福庭納涼まつり」の予算については、公民館執行部・役員で協議した結果、全額を福庭住民の皆様へ還元させて頂く事と決定致しました。

具体的には、公民館加入全世帯に対して「一世帯あたり 1,000 円の「東宝・あじそう共通商品券」を本年 8 月 2 日から順次各班で班長さんから皆様へお配りします。(配り方は各班の班長に一任します)尚、この予算執行の手続きは最新の福庭自治公民館規約および運営規程に基づいて行うものであり規約上の問題は全くございませんのでご安心下さい。また、東宝・あじそう殿の商品券を採用するのは、長い間毎年同ストア様から事業所協力金を頂いており、今後も引き続きお願いしたいとの願いからです。皆様のご理解をお願い申し上げます。

<福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する本年 2020 年 11 月 30 日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

*令和 2年(2020年)7月31日(金)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 141 世帯 (全体の約 34.1%)

(2) 寄附金の合計： 457 万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団) 25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 10 万円 (13 名) 5 万円 (10 名)、3 万円 (20 名)、2 万円 (13 名)、1 万円 (80 名) 他

(先月報告の内容と同じです)

<大雨・洪水に際しての倉吉市の最新避難基準について>

2020 年（令和 2 年）7 月 6 日時点の最新情報
(倉吉市役所殿よりヒアリング)

先日から九州 / 熊本・大分・鹿児島地方を中心とした大雨・洪水の災害で亡くなられた方々、被災された方々に対して謹んで哀悼の意を捧げます。

これに関連し 7 月 16 日付け回覧でもお伝えしましたが、福庭の住民の方から私に電話があり、もし大雨や洪水が倉吉に来た際の最新の避難基準や避難場所を教えて欲しいとの事でした。誠に不本意ながら私は最新のものを把握しておりませんでしたので直ちに倉吉市役所殿へ問い合わせし、下記の内容について確認しましたので皆様にお知らせ致します。ご高配下さい。

<警戒レベルには 1～5 まであり、それぞれで避難方法や避難場所が異なる>

(内容)

*警戒レベル 1 と 2 の場合・・・あくまでも住民の自主的な避難。体の不自由な人など早めに非難が必要な人は自主的に避難できる。

市内の避難場所 (5 か所) ～武道館 (陸上競技場そば)、河北中、小鴨小、久米中、関金小～

備考) 特に行政側から避難放送等は行わない。公民館も行わない。

*警戒レベル 3 の場合・・・3 以上は行政側から避難指示等の放送を行う。

レベル 3 になると避難場所は市内 19 か所になる。
～この内、福庭・福庭町関係は、河北中と河北小

*警戒レベル4と5の場合・・・上記の避難場所に福庭関係は北高が加わる

以上

< 8月15日「終戦の日」特別企画 >

新シリーズ「心に残った一曲」(第7弾) 映画音楽より

～桑田佳祐 作詩作曲・サザンオールスターズ歌唱～

映画「永遠のゼロ」テーマ曲・・・蛍（ほたる）

愛の歌が途絶（とだ）えるように
心の灯（あか）りが消えたの
たった一度の人生を捧（ささ）げて
さらば友よ 永遠（とわ）に眠れ

青空は悲しい空
揺れる木洩（こも）れ日がせつなくて
夏が来るたびあの日と同じ
風が通り過ぎて行ったよ

涙見せぬように 笑顔でサヨナラを
また逢（あ）うと約束したね

何のために己（おのれ）を断（た）って
魂（たましい）だけが帰（か）り来るの？
闇（やみ）に飛び交う蛍（ほたる）に連れられ
君が居た気がする

生まれ変われたら また恋もするでしょう
抱（いだ）き合い 命（いのち）燃やすように

涙見せぬように 笑顔でサヨナラを
夢溢（あふ）る世の中であれと・・・祈（いの）り

＜映画「永遠のゼロ」のあらすじ＞
～家族を愛した心優しき臆病者(パイロット)は、何を願って飛んだのか？～

司法試験に落ちて進路に迷う佐伯健太郎は、祖母・松乃の葬儀の日に驚くべき事実を知らされる。実は自分と祖父・賢一郎には血のつながりが無く、“血縁上の祖父”が別にいると言うのだ。本当の祖父の名は、宮部久蔵(みやべきゅうぞう)。60年前の太平洋戦争で零戦パイロットとして戦い、終戦直前に特攻出撃により帰らぬ人となっていた。宮部の事を調べるために、かつての戦友のもとを健太郎は訪ね歩くが、そこで耳にした宮部の人物評は「海軍一の臆病者」などの醜いものだった。宮部は天才的な操縦技術を持ちながら、敵を撃破する事よりも「生きて還る」事に執着し自分が教官を務める「特攻」のクラスの若い兵士にも国の為に命を捧げる事よりも「命を大事にする」方を説いた。だから軍幹部からは執拗に叱責や暴力を受けたがそれには耐えた。そして横須賀に居る妻・松乃と生まれて間もない幼い娘、清子(きよこ)には「家族のもとへ必ず還ってくる」とたった一つの約束をしそれを誓った。然し宮部は最後には“特攻”を選び海に散ったが、出撃の前に、自分の部下であり宮部を慕う大石賢一郎の旧型ゼロ戦と自分の新型ゼロ戦を交換しその結果、賢一郎のみ島に不時着して一命を取り留める。そしてその操縦室には宮部の妻子の写真と「家族が路頭(ろとう)に迷っていたら助けて欲しい」とのメモ書きを残していた・・・

＜歌の背景と感想＞

高いゼロ戦の操縦技術を持つも「海軍一の臆病者」と蔑まれる宮部は若い特攻兵に「君には家族が居ないのか、死んだら悲しんでくれる人が居ないのか？死ぬのはいつでも出来る。生きるための努力をすべきだ」と説いていた。あの時代にそういう生き方を選んだ宮部小隊長(岡田准一)は誰よりも強い人だったと思う。決して臆病者ではなかった。ただ百田尚樹(ひゃくたなおき)原作の200ページにわたる原作小説にも、この144分の映画にも結局、家族思いの「必ず妻子のもとに還る」と約束した宮部が何故最後には「特攻」を志願して死んでいったのかと言う最大の疑問に何も答えていない。ネットで色々な人たちの感想を調べても明快な回答はない。この映画は何度観ても特に後半は嗚咽をするほど涙が止まらないが、私自身はこの疑問に対して次の様に答えを出しました。たぶん、今までにはどこにもない私だけのオリジナルの回答だと不遜にも思います。是非聞いて下さい・・・まず、土井承夫がとかく好きなテーマ「男の本分(ほんぶん)」について考えます。特に既婚者の男の仕事とは何か？それは次の二つのアイテムを如何にして両立させうるかであります。すなわち、(A)課せられた仕事の目標を完遂し結果として組織の繁栄と自己の報酬の確保及び栄達を図る事。(B)その報酬を以て妻子や家族が路頭に迷わぬ様、幸せな暮らしが出来るよう責任を全うする事・・・だと考えます。(A)の方に力点がある人は「モーレツ社員」等と呼ばれ(B)にシフトしている人は「マイホーム主義」等と言われますが、いずれも誤差の範囲であり、とにかく何としてでも二つを両立させる事が男には求められます。軍教官として若い兵士を教えながらも沢山の犠牲者を造ってしまった宮部が無事に日本に還れる道理はなくまさに特攻で死ぬ事が(A)を完遂する事であるのは明らかです。

だから、この条件下で如何にして (B) を成し遂げるか、妻・松乃との「必ず還る、生まれ変わってでも還る」との約束をどうやって守るかを真剣に考えたのだと思います。今やっている公民館建設もそうですが、大事なのはまず2年3年先の目標達成の完成図や着地点を具体的に思い浮かべそこから逆算してどういうスケジュールで事業を組み立てるかを具体的に考える事です。行き当たりばったりではダメで毎年の予算会議の他に役所にも企業にも「中期計画」と言うのがあって **3年先**に収益を出す絵を描いてそれを達成するための施策を具体的に考えます。宮部久蔵が慕ってくれる大石少尉を使って旧型と新型のゼロ戦を交換し大石が予定通り島に不時着し宮部の妻子の写真や「家族が路頭に迷っていたら助けて欲しい」とのメモを発見させるというシナリオは偶然に起こったのではなく宮部が周到にかつ綿密に計算して仕組んだものだったと私は思います。高い操縦技術を持つ宮部が戦闘機にその程度の細工を事前に施すのは難しくなかったと思います。そうでなければ余りにも手の込んだ展開が偶然に起こった等とは信じられないからです。そしてもう一つ大事なことは、この計画の最終的な受け手である宮部の妻・松乃（井上真央）が本当に「生まれ変わってでも還る」という約束を宮部が果たしてくれたとってくれるかどうかです。宮部はここでも妻の性格や能力をよく理解していたのだと思います。スケジューリング（計画を立てる事）とは単に数字やデータだけで構築できるものではなく関係する大石少尉や妻・松乃などの登場人物の性格や才覚も把握しておかなければなりません・・・以上が私が勝手に考えたストーリーです。ご意見のある方は是非教えてください。

今月8月15日は“終戦の日”であり太平洋戦争で亡くなった戦没者310万人の英霊に掌を合わせる日です。正午からの武道館での慰霊祭は今年75回目を迎え遺族の高齢化が進んでいます。今上陛下の世界へ向けたお言葉に平和への誓いを新たにしたいと思っています。最後に、宮部小隊長の身代わりとして松乃と結婚し60年目に真実を孫たちに語った大石賢一郎（夏八木勲）の言葉を下記します。今回も長文を読んで頂きありがとうございました。

～私にははっきりと言葉にできない。言葉に出来るような事ではない。ただ、ひとつ思うのはあの宮部小隊長は死ぬのを恐れていたのではない。松乃やお前（清子）の人生が壊れてしまうのを恐れていたのだ。生き残った者はしなければならない事がある。それはその死を無駄にしないことだ。物語を続ける事だ。やがて私たちは結婚した。二人の間で宮部さんの話が出た事は一度もない。だが、二人とも宮部さんの事を忘れたことも一度もない。私達だけが特別なのではない。あの時代、一人一人にそんな物語があった。みんなそれぞれ胸に秘めて何事もなかった様に生きている。それが、戦争で生残ったという事なのだ・・・